

データヘルスの今後の更なる推進に向けて

2016年3月3日

厚生労働省保険局医療介護連携政策課
医療費適正化対策推進室

データヘルスの更なる深化に向けて

- データヘルス計画は、27年9月現在で、ほとんどの保険者で作成が完了。(別添①)
- 今後は、平成30年度からの本格稼働に向け、一定の標準化を目指していく。

課題① ノウハウ・推進方策

(別添②-1~④)

1. **データヘルス計画のPDCAサイクルの標準化**⇒計画の評価、健康課題の把握・事業計画策定の標準化
2. **健康無関心層対策**⇒個人インセンティブWGで検討中。年度末にガイドライン発出
 - 加入者への健康情報の分かりやすい情報提供 視覚に訴える・数値の意味を伝える・ソリューションを伝える
 - ヘルスケアポイント(個人インセンティブ)
 - コラボヘルスによる個人の日常生活動線(学校・職場・地域)での環境づくり
3. **糖尿病性腎症重症化予防事業の推進**⇒日本健康会議重症化予防WGで検討中
 - 重症化予防プログラム(対象者・指導方法等)・地域の医療関係者との連携体制の構築が必要
 - 埼玉県で実施されている取組も参考にしつつ、その横展開を推進する方策を実施

課題② 専門的人材・マンパワー

(別添⑤)

- 人材・マンパワー対策**⇒日本健康会議民間事業者活用WGで検討中
- 健康・予防サービスを提供する事業者と、保険者等とのマッチングを推進
 - データヘルス・予防サービス見本市の実施

課題③ 事業実施へのインセンティブ

(別添⑥・⑦)

- 保険者インセンティブ**⇒特定健診・保健指導検討会で検討
- 保険者の共通的な評価指標の作成
 - 現在、保険者種別ごとに実際の評価の在り方を検討中